



# 2014年3月期 第1四半期 連結決算概況

株式会社マルハニチロホールディングス

# 1. 連結損益計算書

(単位: 億円)

	第1Q実績	前年同期	増減	年間計画	進捗率
売上高	2,029	1,950	79	8,450	24%
売上原価	1,745	1,672	73		
売上総利益	284	278	6		
販売費・一般管理費	247	238	9		
営業利益	36	39	△ 3	180	20%
営業外収益	27	19	8		
営業外費用	9	10	△ 1	160	34%
経常利益	54	49	5		
特別利益	2	86	△ 84		
特別損失	1	21	△ 20		
税金等調整前四半期純利益	55	114	△ 59		
法人税等	25	43	△ 18		
少数株主利益	3	1	2		
四半期純利益	28	71	△ 43	70	40%

当社グループは中期三ヵ年経営計画「ダブルウェーブネクスト」の最終年度を迎える一方、飲料製造会社の売却等、事業の選択と集中を進め、グループの資本・組織の最適化に向けた経営体制の強化に取り組んでおります。

当該期間の実績は、前年対比で売上高は4.0%の増加。円安によるコスト上昇などにより営業利益は8.0%減少した一方、為替予約によるヘッジで為替差益が発生したことなどから、経常利益は10.5%増加しました。純利益は28億円となり、年間計画70億円に対し40%の進捗となりました。

## 2. 連結貸借対照表

(単位: 億円)

	第1Q実績	13年3月末	増減			第1Q実績	13年3月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>2,698</b>	<b>2,531</b>	<b>166</b>	<b>流動負債</b>	<b>2,569</b>	<b>2,445</b>	<b>124</b>	
現預金	115	142	△ 27	仕入債務	365	334	31	
売上債権	1,104	1,032	72	短期借入金	1,774	1,721	53	
有価証券	17	32	△ 15	その他	430	390	40	
たな卸資産	1,323	1,182	142	<b>固定負債</b>	<b>1,374</b>	<b>1,358</b>	<b>17</b>	
短期貸付金	8	10	△ 1	長期借入金	1,094	1,058	37	
繰延税金資産	36	38	△ 1	その他	280	299	△ 19	
貸倒引当金	△ 12	△ 12	0	<b>負債合計</b>	<b>3,943</b>	<b>3,802</b>	<b>141</b>	
その他	105	108	△ 3	資本金	310	310	0	
<b>固定資産</b>	<b>2,111</b>	<b>2,098</b>	<b>13</b>	剰余金	445	434	12	
有形固定資産	1,373	1,387	△ 14	自己株式	△ 1	△ 1	△ 0	
無形固定資産	220	217	3	<b>株主資本</b>	<b>755</b>	<b>743</b>	<b>12</b>	
(内 のれん)	150	148	2	その他の包括利益累計額	△ 17	△ 48	30	
投資その他資産	518	494	24	少数株主持分	127	131	△ 4	
				純資産合計	865	827	38	
<b>資産合計</b>	<b>4,808</b>	<b>4,629</b>	<b>179</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>4,808</b>	<b>4,629</b>	<b>179</b>	

総資産は主として売上債権及びたな卸資産の増加により、前連結会計年度末から179億円増加しました。

負債総額は仕入債務及び借入金の増加により、141億円増となりました(但し、前年同期比では負債総額は196億円の減少、内有利子負債は135億円の減少)。

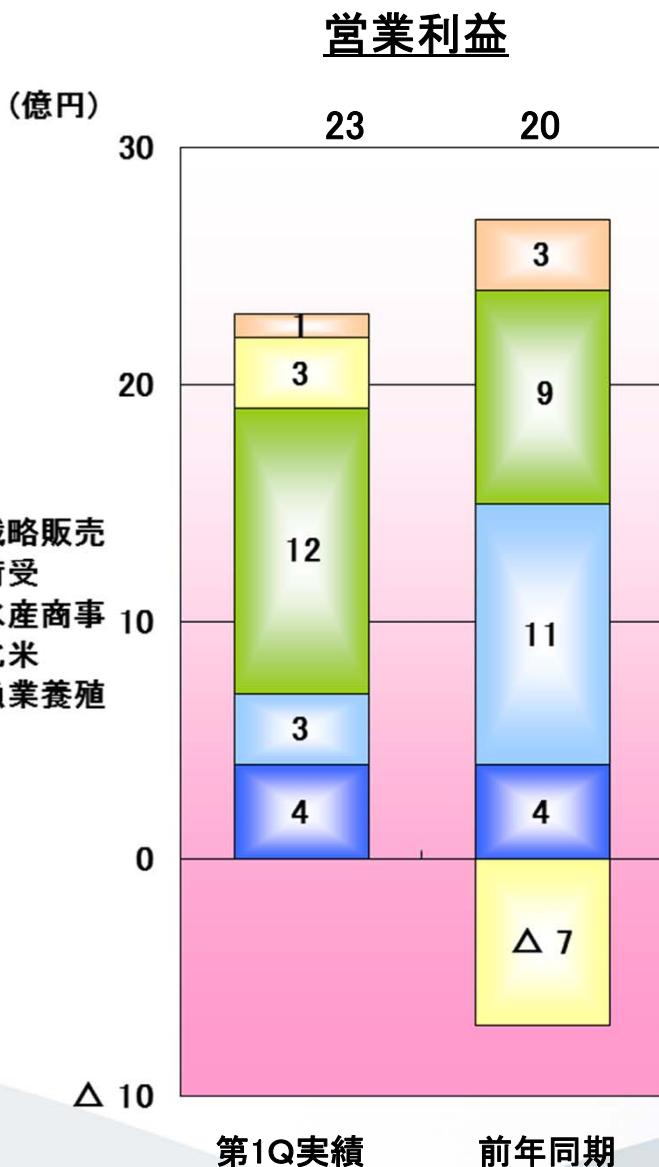
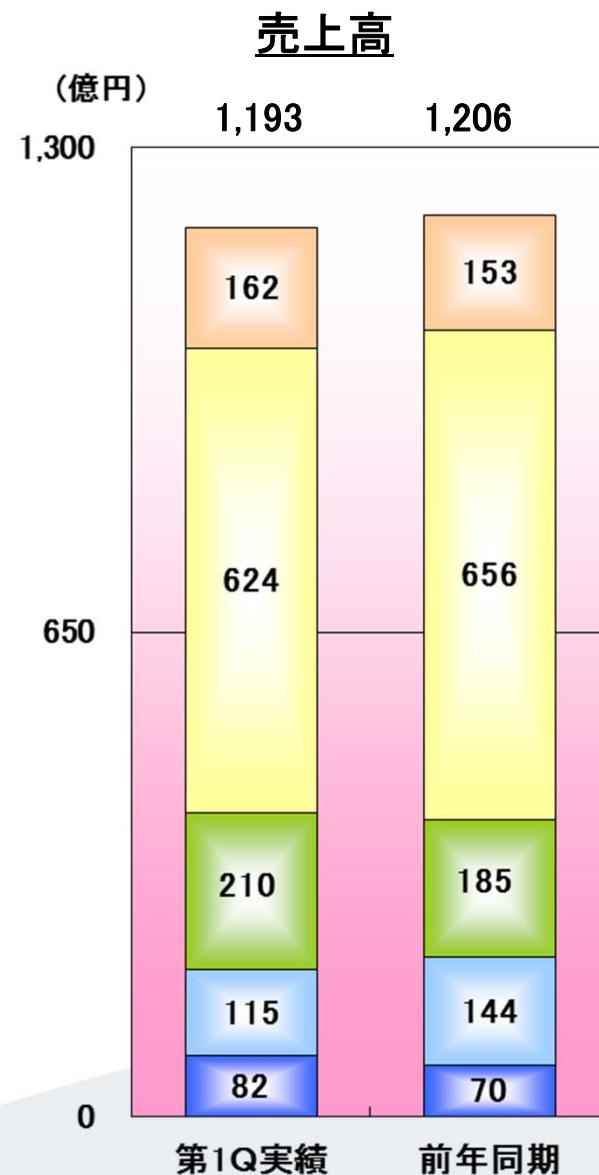
株式会社マルハニチロホールディングス

### 3. ユニット別実績

(単位:億円)

	売 上 高					営 業 利 益				
	第1Q実績	前年同期	増 減	年間計画	進捗率	第1Q実績	前年同期	増 減	年間計画	進捗率
漁業・養殖ユニット	82	70	12	346	24%	4	4	△0	16	25%
北米ユニット	115	144	△29	549	21%	3	11	△8	14	21%
水産商事ユニット	210	185	26	716	29%	12	9	3	33	36%
荷受ユニット	624	656	△32	2,743	23%	3	△7	10	8	38%
戦略販売ユニット	162	153	9	669	24%	1	3	△1	6	17%
水産セグメント計	1,193	1,206	△13	5,023	24%	23	20	3	76	30%
冷凍食品ユニット	385	311	74	1,584	24%	11	11	0	55	20%
加工食品ユニット	168	175	△8	688	24%	3	4	△1	24	13%
畜産ユニット	120	97	23	443	27%	2	2	△0	10	20%
化成品ユニット	31	32	△1	148	21%	3	3	0	13	23%
アジア・オセアニアユニット	84	75	8	361	23%	△3	3	△6	14	-21%
食品セグメント計	787	691	97	3,223	24%	16	23	△7	116	14%
保管・物流セグメント	38	39	△1	154	25%	3	4	△0	14	21%
その他の	10	14	△4	50	20%	2	2	1	8	25%
全 社						△8	△9	1	△34	24%
合 計	2,029	1,950	79	8,450	24%	36	39	△3	180	20%

## 3-1. 水産セグメント

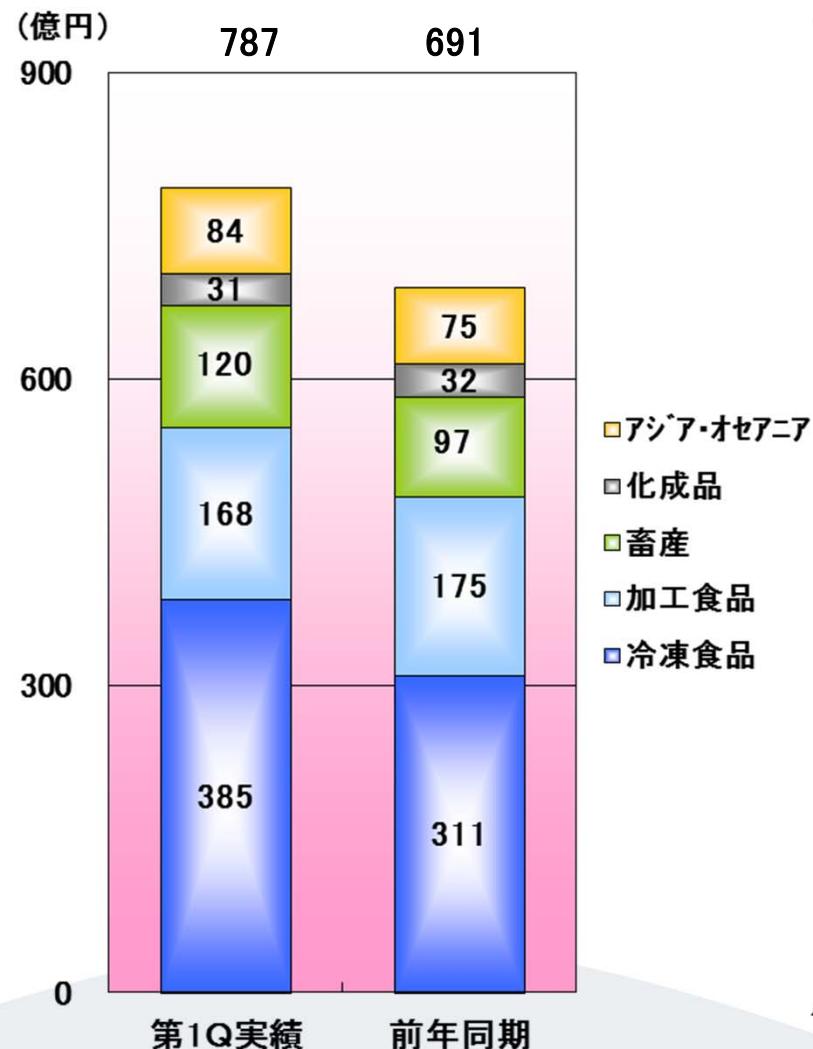


### トピックス

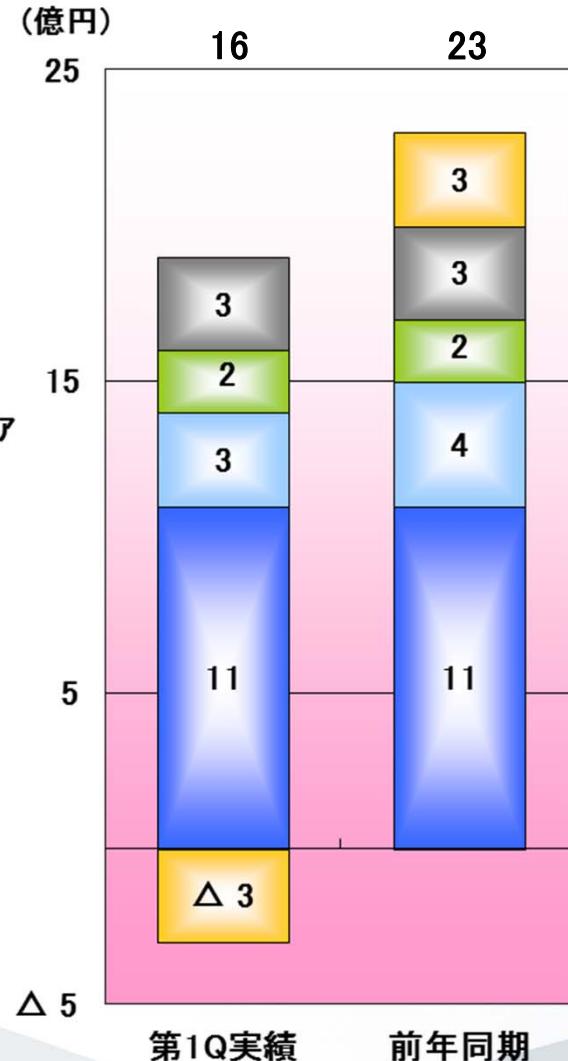
- 漁業・養殖ユニット**  
漁業は、海外まき網漁が好調で增收増益  
養殖はまぐろの販売数量減少
- 北米ユニット**  
すりみは販売遅れにより、助子は歩留低下により、鮭は不漁のため減収減益
- 水産商事ユニット**  
冷凍魚は相場の上昇により販売好調  
エビは供給不足で相場上昇し增收増益
- 荷受ユニット**  
昨年計上したサケの損失解消  
在庫圧縮により経費減
- 戦略販売ユニット**  
量販店、外食への販売は好調だが、  
仕入コストの上昇により增收減益

## 3-2. 食品セグメント

### 売上高



### 営業利益



### トピックス

#### 1. 冷凍食品ユニット

市販用の販売好調、グループ化したヤヨイ食品の貢献もあり增收も、コスト増により利益幅縮小

#### 2. 加工食品ユニット

飲料会社の売却等により売上は減収も缶詰の販売は増加。販売促進費の増加により減益

#### 3. 畜産ユニット

輸入品目、国内アイテムとも販売好調。円安によるコスト増により減益

#### 4. 化成品ユニット

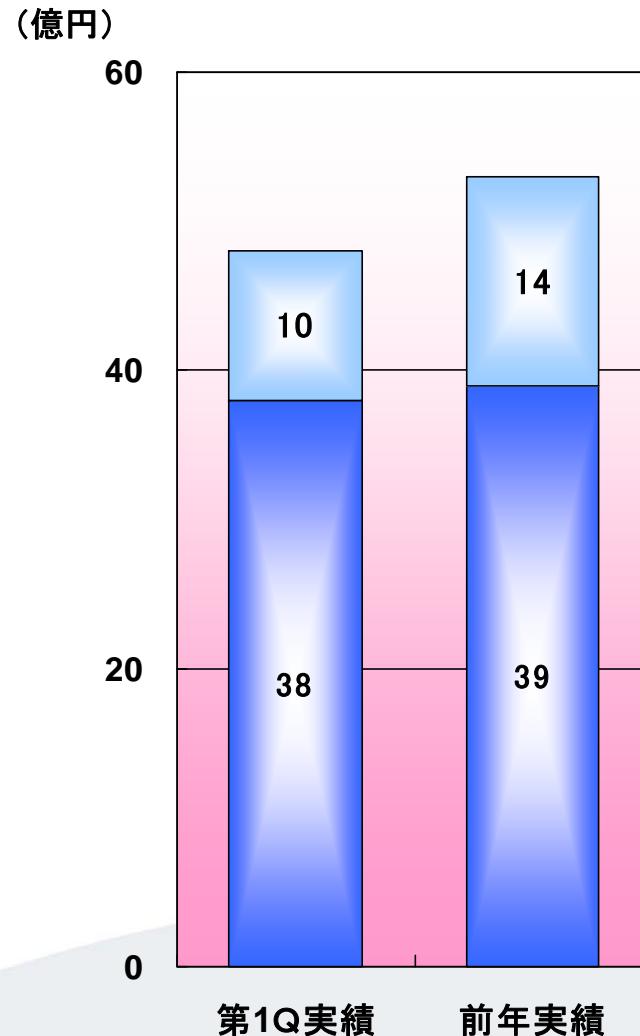
医薬プロタミン販売好調も乾燥食品関連不振。自社工場稼働率向上により増益

#### 5. アジア・オセアニアユニット

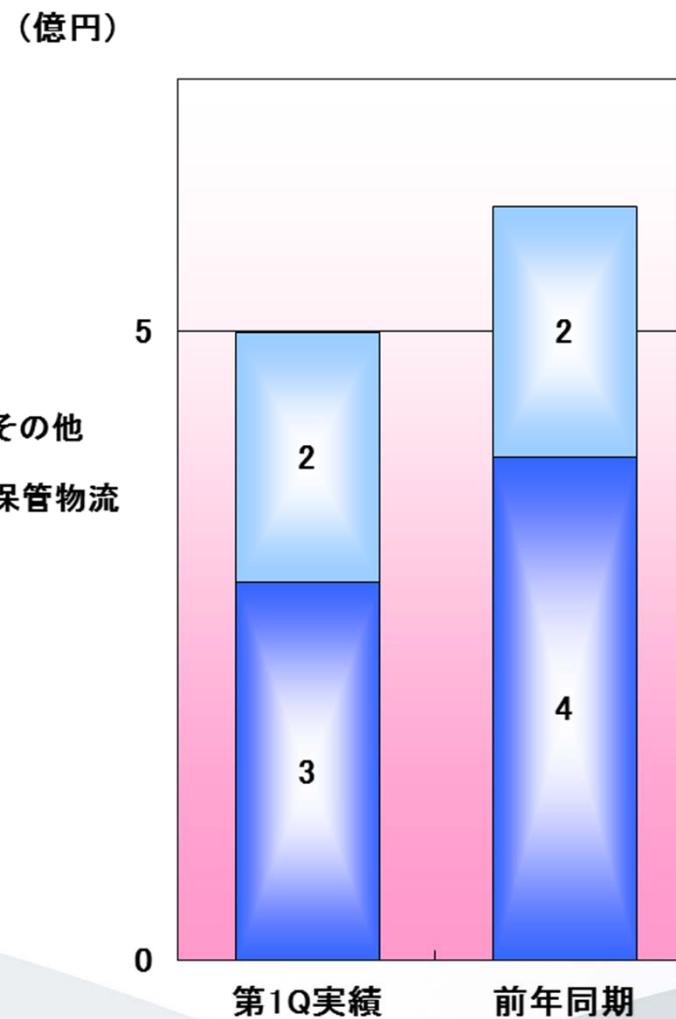
增收も、カツオ・エビの原料高に伴い減益

### 3-3. 保管・物流セグメント／その他

売上高



営業利益



#### トピックス

##### 保管物流セグメント

在庫水準低迷の上、保管料単価の安い  
貨物の比率が上昇

輸配送等周辺事業も荷動き低迷

## 世界においしいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します。



MARUHA NICHIRO